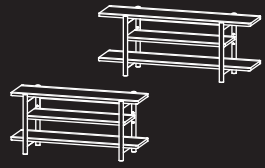


組立・お取り扱い説明書

TVボード/TVボード(ワイド)

LS-01/LS-04



このたびは、当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。この製品を末永く安全にお使いいただくために、この『組立・取扱説明書』を良く読み、正しくお使いください。また、この『組立・取扱説明書』を保管し必要なときにお読みください。

■樹種について

メープル メープルシロップのとれる木です。清潔感のある白色と、つやのある木肌が特徴。硬く割れにくく、じっくり使い込むと独特の艶色に変わります。



ウォルナット くるみのなる木の仲間です。灰色がかかったブラウン色で、高級家具材として人気があります。木目に変化に富んだ模様を描き、磨くと美しいつやが出ます。衝撃に強く、楽器などにも使われます。



※天然の素材なので、同じ材料でもそれぞれの表情は異なってきます。

※棚板・コード受けはシナ合板に各樹種の突板貼り

■塗装 オイル塗装 使い込んでいくほどに深みを増していく塗装方法です。

自然の植物油をベースにしたオイルで、木の持つ風合いを保ちます。メンテナンスは、オイルを重ね塗りすることで簡単にできます。

▲シミやキズの原因となるため、熱いものや濡れたものは直接置かず、布などを敷いてお使いください。もし水や油をこぼした際にはすぐに拭き取ってください。

■サイズ LS-01 TVボード W1050×D370×H490 mm
LS-04 TVボード(ワイド) W1250×D370×H490 mm

■耐荷重 棚板(上下段)各 40kg 可動棚 20kg 全体 50kg

⚠ 使用上のご注意

- ①ご使用前に必ずこの説明書を読んでください。
- ②乱暴な取り扱いはしないでください。安全性が低下する恐れがあります。
- ③破損の原因になるような過度な重量物などを載せないでください。
- ④危険ですので、用途以外には使用しないでください。

■木の家具が苦手なものは？

直射日光や熱は家具を変形・変色させるおそれがあります。窓やストーブから離してお使いください。

湿気は家具を膨張させたり、カビを発生させる可能性があります。壁からはなして置いたり、通気性を良くしましょう。



木部のお手入れ方法

毎日のお手入れは？

→乾いた柔らかい布で拭いてください。

調味料・お酒をこぼしてしまった…!

→良く絞ったフキンで、すぐに拭き取ってください。

乾拭きではとれない汚れには？

→石鹸水を浸した布で汚れを落とし、良く絞った布で洗剤分を拭き取り、次に乾いた柔らかい布できれいに拭き取ってください。



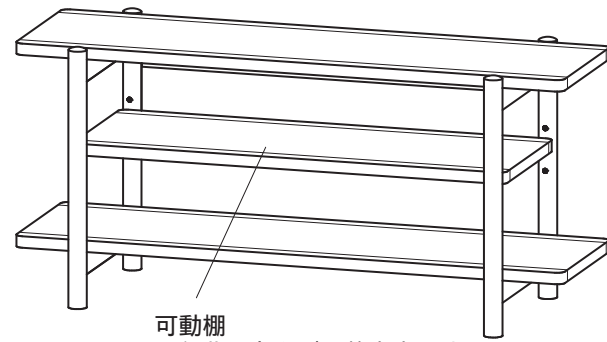
■お問い合わせ先 株式会社コサイン カスタマーサポート
〒079-8453 北海道旭川市永山北3条6丁目2-26
TEL. 0166-47-0123 / FAX.0166-47-7450
<http://www.cosine.com>

cosine

171205

■ご使用説明

表面



可動棚
3段階に高さが調整出来ます。

下記サイズの薄型テレビを置くのに適した大きさです。

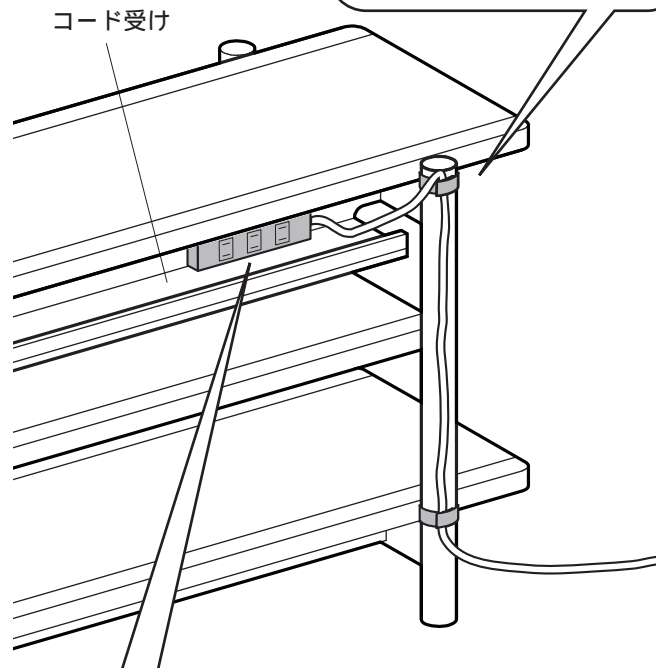
| | | |
|------------------|--------|--------|
| LS-01 TVボード | ～40インチ | 重量 |
| LS-04 TVボード(ワイド) | ～55インチ | 40kg以下 |

裏面

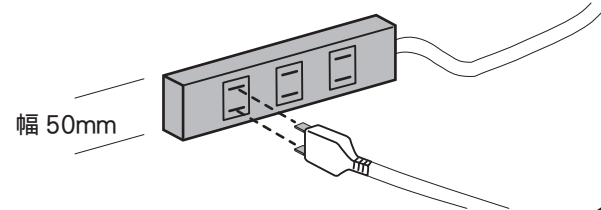
■コード受け

テレビやプレーヤー等のコードをコード受けに収めると、前面から見えず美しくご使用頂けます。

市販のコードバンド等をお使い頂き、脚の裏面にコードを通す事が出来ます。

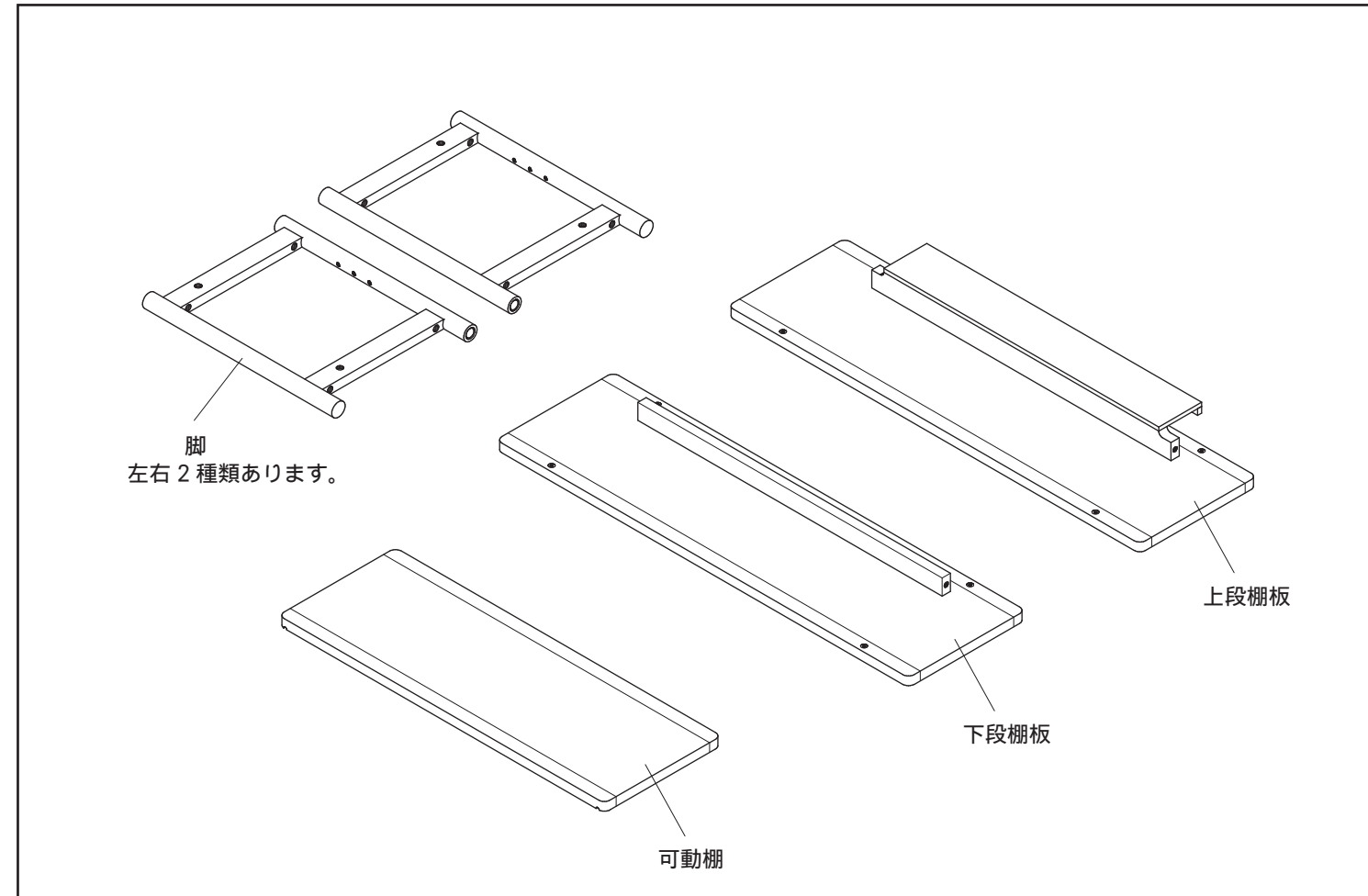


コード受けの奥に幅50mmまでの電源タップを立てて収納する事が出来ます。



幅50mm

■構成部品



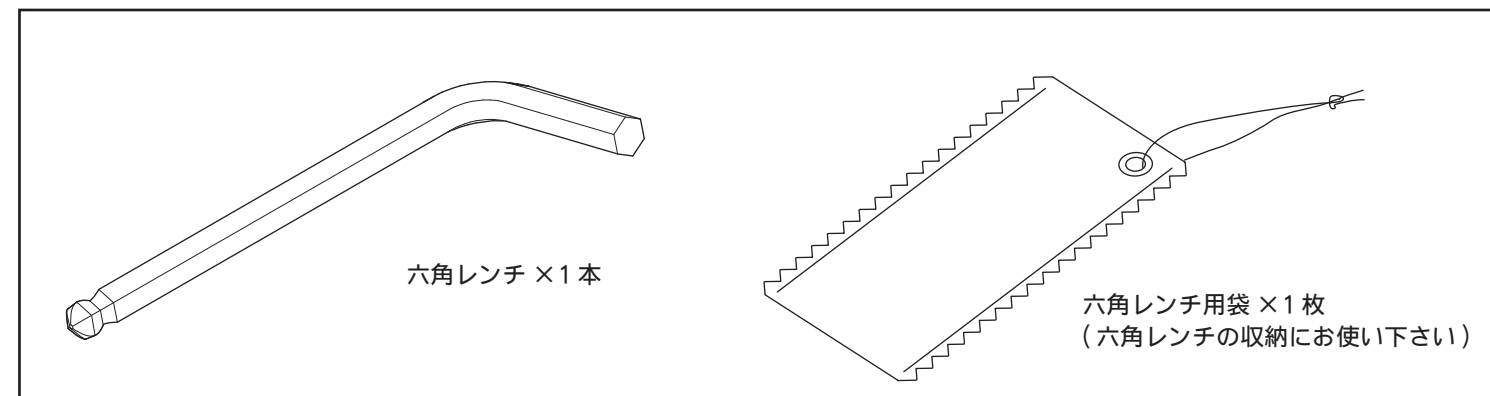
脚
左右2種類あります。

上段棚板

下段棚板

可動棚

| | | | | |
|-----------|-----------|------------|--------|-----|
| | | | | |
| ボルト M6×50 | ボルト M6×30 | スプリングワッシャー | 平ワッシャー | 棚ダボ |
| 8本 | 4本 | 12枚 | 12枚 | 4個 |

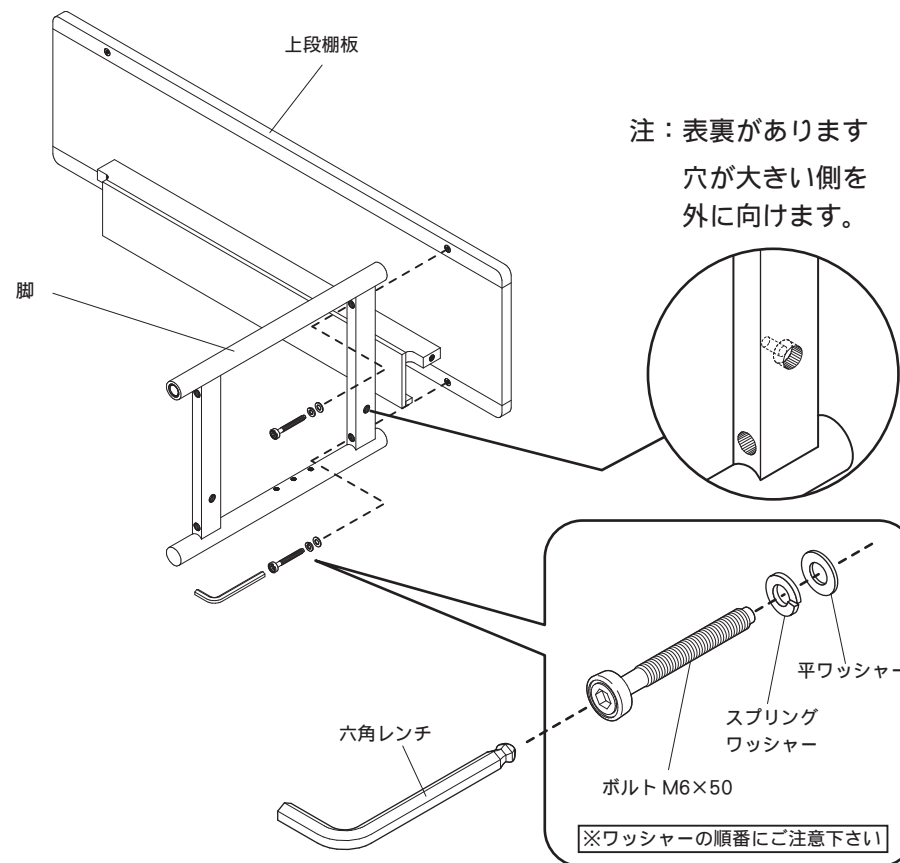


六角レンチ ×1本

六角レンチ用袋 ×1枚
(六角レンチの収納にお使い下さい)

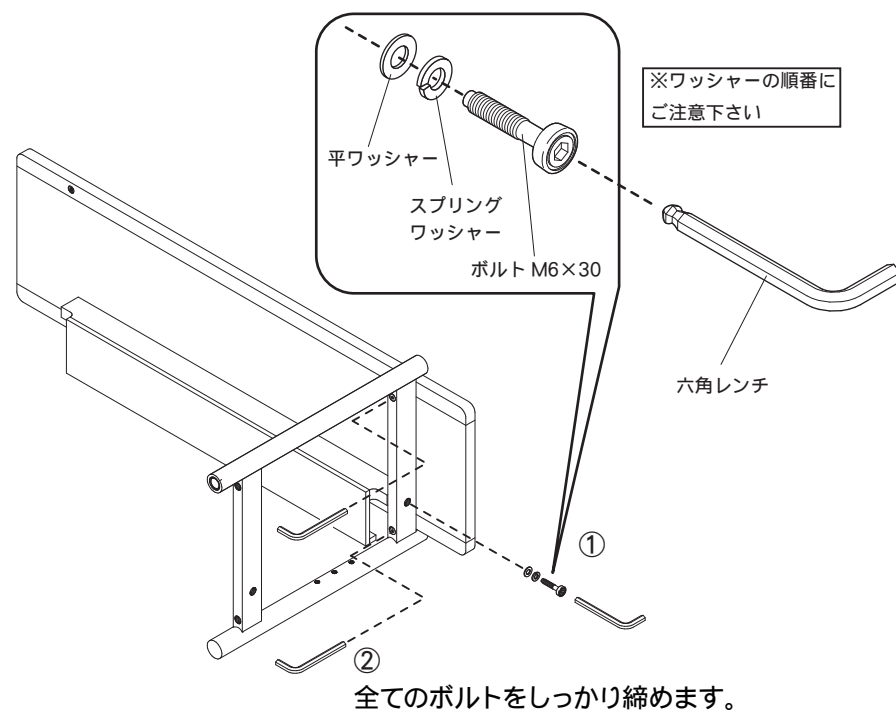
■組立説明

- 1 はじめに下図のように上段棚板と脚をボルトで取り付けます。
ボルトは軽く締めます。

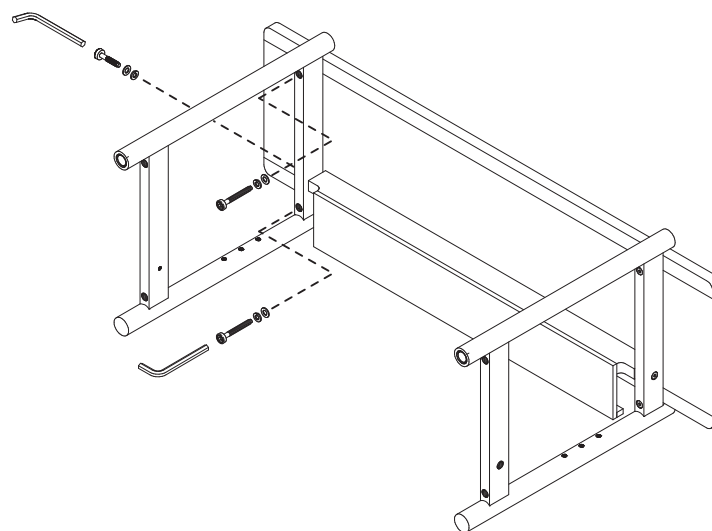


ボルトは軽く締めて下さい。強く締めると②のボルトが入らない事があります

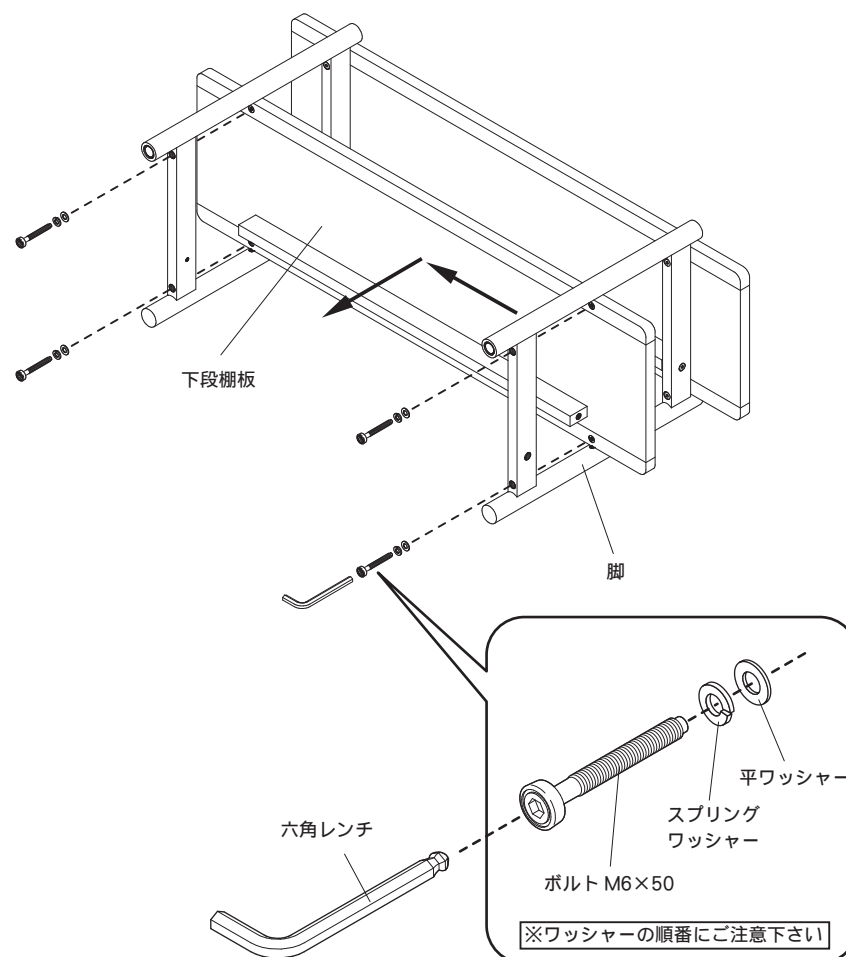
- 2 下図のように①脚側面の穴にボルトを取り付けます。
次に②すべてのボルトをしっかりと締めます。



- 3 もう一方の脚も①~②と同様の手順で取り付けます。

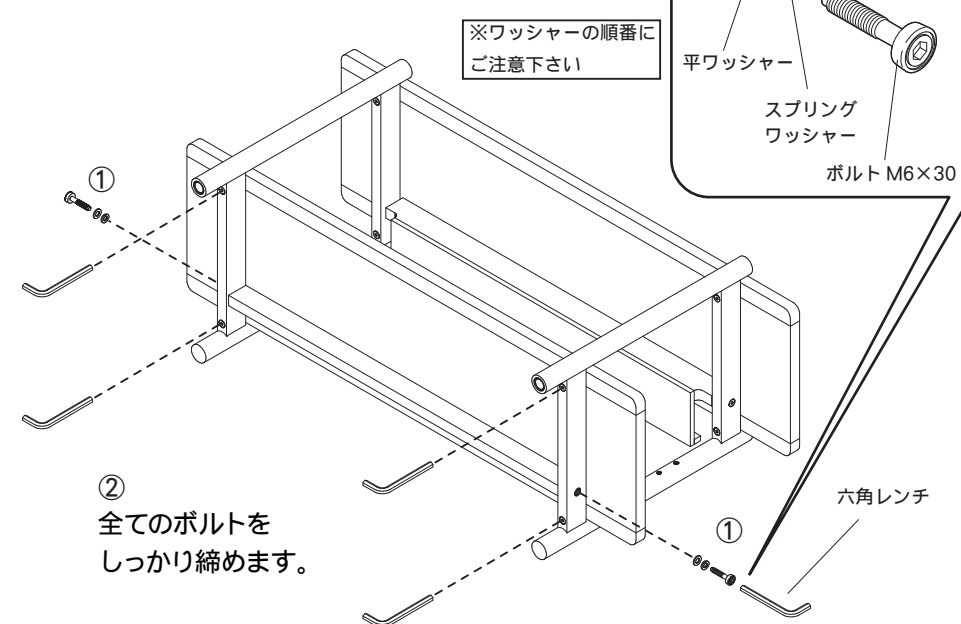


- 4 図のように、下段棚板を脚と脚の間を通し、ボルトで固定します。
ボルトは軽く締めます。

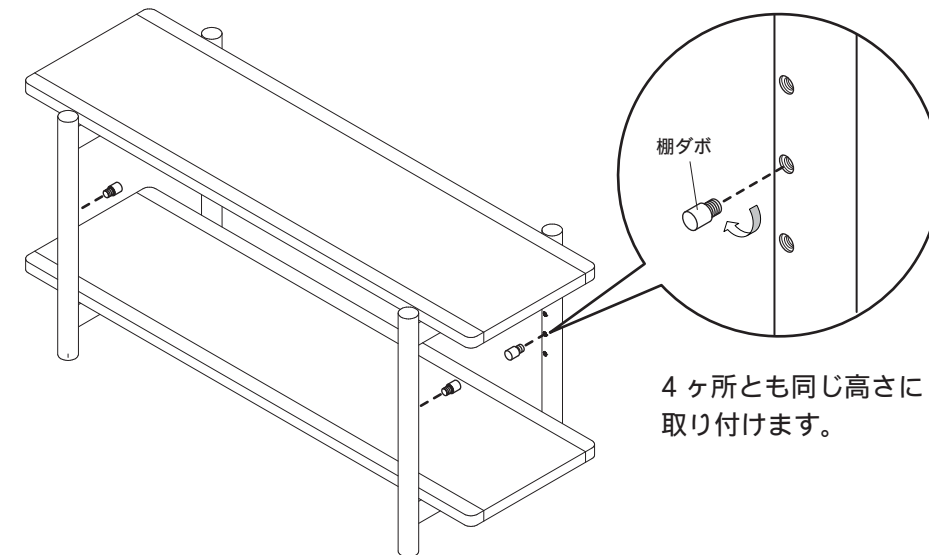


ボルトは軽く締めて下さい。強く締めると④のボルトが入らない事があります

- 5 下図のように①脚側面の穴にボルトを取り付けます。
次に②すべてのボルトをしっかりと締めます。



- 6 脚に付属の棚ダボを取り付けます。
3段階の高さから可動棚を取り付けたい位置を選んで取り付けます。



- 7 棚ダボの上に可動棚を乗せて完成です。

